

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名		福祉課	事業No.	81
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始		R1	終了	R5
事務事業名 飯田市南信濃障害者等活動支援センター管理運営事業				
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等			飯田市南信濃障害者等活動支援センター条例
事業目的		対象	南信濃障害者等活動支援センター利用者	
		意図	創作活動又は生産活動の機会の提供と障がい者等の自立と社会参加の促進	

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 飯田市南信濃障害者等活動支援センターつくしんぼの管理運営を、社会福祉法人飯田市社会福祉協議会に指定管理者制度による指定管理を行っています。 ・ 遠山地域で暮らす障がい者の日中活動の場を確保し、その自立と社会参加の機会を提供する、貴重な社会資源となっています。										
				その他の経費				0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	サービス利用者数		人	6	6	6	6	6	7		
1年度決算(千円)	予算額		0		特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		0								
	財源の状況	国庫支出金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
一般財源		0									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・ 遠山地域で生活する障がい児・者の日中活動の場を提供できる貴重な社会資源ですが、今後にわたり支援員の確保が困難となることが予想されています。							
上記の課題解決のための有効策		・ 指定管理者である社会福祉法人飯田市社会福祉協議会と連携し、当山地域における事業の存続に向けての検討を行います。							
次年度に向けての取り組み		・ 指定管理者である社会福祉法人飯田市社会福祉協議会と連携し、事業の存続に向けての検討を行います。 ・ 支援員の負担軽減を図り、相談事業所等の関係機関との連携を密にし、事業の運営を支援していきます。							